

ぞう
ZO方式による
授業改善

令和3年2月

東大和市立第五中学校

他教科でも取り入れられる国語・数学・外国語の研究を生かした授業改善

国

平成 29 年度～31 年度の学力調査結果から判明した第 3 学年の課題

国語

- 語句の係り受け
- 漢字の読み・書き
- 登場人物の様子・気持ち・行動の読取り

数学

- 正負の数の除法
- 文字式の計算
- 比例・反比例

外国語

- 英文を聞いて理解すること
- 前置詞の意味
- 「What+名詞」「Do/Does」の用法

都

平成 29 年度～31 年度の学力調査結果から判明した第 2 学年の課題

個々の教員が実践する授業改善の一例をご紹介します。

YUKI-ZO 方式

3つの課題の主な要因が文章に親しむ機会の少なさにあるととらえ、朝の帯時間や授業の場の工夫に努めています。

書き写し読書

教科担任が質の高い説明文や文学作品を選定し、文章を書き写させることを通して文の構成を理解させます。



図書室授業

読むことを広げ深めるために図書室を使用し、学校図書館指導員も適宜授業に参加して選書を支援します。

反復学習

単元テストの他に漢字の小テストを繰り返し実施します。書きは小学校に立ち返って確実に習得させます。



指導者：結城 圭絵 指導教諭

教育研究員や教育開発員を歴任し、東京都教職員研修センターで模範授業を公開しています。

MOTO-ZO 方式

特に数学の学習につまずいている生徒を対象にして、板書を用いず個別に学習指導をする少人数・習熟度別授業に取り組んでいます。

選択と集中

つまずきのある生徒を 10 人程度に絞り込み、学習指導員と協力指導員も参加して学習支援に力を注いでいます。



個別指導

教諭、学習指導員、協力指導員の 3 名が生徒 3～4 人と向き合って個別に説明しながら指導します。

外部人材の活用

つまずきのある生徒を募り、地域未来塾事業を活用して現役の塾講師を招き入れ、放課後の補習を実施しています。



指導者：本橋 宏祐 教諭

板書や一斉授業に固執せずに生徒の学びの実態に合わせて柔軟な指導方法の開発に努めています。

MOMO-ZO 方式

3つの課題の主な要因は、英語に慣れ親しむ場面の不足にあるととらえ、発話を多く取り込み、ICQ's: Instruction Checking Questions に努めています。

Keep Talking

英語による指導者の問いかけを生徒に絶え間なく行い、英語の音に慣れ親しむ場面を最大限作ります。



One Minute Conversation

定型文の例示から生徒に自分の考えや思いを 1 分間で伝え合うアクティビティを実践しています。

文法の見える化

主語や動詞等の品詞をカード化して色で示し、文の構造を直感的に理解できるように工夫しています。



指導者：玄應 桃子 主任教諭

英語教育推進リーダーとして本市や近隣市の外国語科教員に還元研修を実施してきました。



IMO-ZO コミュニティ・スクールでは第七小学校と第九小学校、第五中学校の3校が一体となって地域社会に貢献する児童・生徒を育みます。

ぞう
ZO方式による授業改善 東大和市校内研究奨励校

令和3年2月発行

編集・発行 東大和市立第五中学校
所在地 〒207-0033 東京都東大和市芋窪 5-1119
電話 042-561-0050
F A X 042-590-7032
ホームページ <http://5c.hyama.andteacher.jp/>